

(適用範囲)

第1条

- 当ホテルが宿泊客との間で締結する宿泊契約及びこれに関連する契約は、この約款の定めるところによるものとし、この約款に定めのない事項については、法令等（法令又は法令に基づくものをいう。以下同じ。）又は一般に確立された慣習によるものとします。
- 当ホテルが、法令等及び慣習に反しない範囲で特約に応じたときは、前項の規定にかかわらず、その特約が優先するものとします。

(宿泊契約の申込み)

第2条

- 当ホテルに宿泊契約の申込みをしようとする者は、次の事項を当ホテルに申し出ていただきます。
 - 宿泊者名
 - 宿泊日及び到着予定時刻
 - 宿泊料金（原則として別表第1の基本宿泊料による。）
 - その他当ホテルが必要と認める事項
- 宿泊客が、宿泊中に前項第2号の宿泊日を超えて宿泊の継続を申し入れた場合、当ホテルは、その申し出がなされた時点で新たな宿泊契約の申し込みがあったものとして処理します。

(宿泊契約の成立等)

第3条

- 宿泊契約は、当ホテルが前条の申込みを承諾したときに成立するものとします。ただし、当ホテルが承諾をしなかったことを証明したときは、この限りではありません。
- 前項の規定により宿泊契約が成立したときは、宿泊期間の基本宿泊料を限度として当ホテルが定める申込金を、当ホテルが指定する日までに、お支払いいただきます。
- 申込金は、まず、宿泊客が最終的に支払うべき宿泊料金に充当し、第6条及び第18条の規定を適用する事態が生じたときは、違約金に次いで賠償金の順序で充当し、残額があれば、第12条の規定による料金の支払いの際に返還します。
- 第2項の申込金を同項の規定により当ホテルが指定した日までに支払っていない場合は、宿泊契約はその効力を失うものとします。ただし、申込金の支払期日を指定するに当たり、当ホテルがその旨を宿泊客に告知した場合に限ります。

(申込金の支払いを要しないこととする特約)

第4条

- 前条第2項の規定にかかわらず、当ホテルは、契約の成立後同項の申込金の支払いを要しないこととする特約に応じることがあります。
- 宿泊契約の申込みを承諾するに当たり、当ホテルが前条第2項の申込金の支払いを求めなかった場合及び当該申込金の支払期日を指定しなかった場合は、前項の特約に応じたものとして取り扱います。

(施設における感染防止対策への協力の求め)

第4条の2

当ホテルは、宿泊しようとする者に対し、旅館業法（昭和23年法律第138号）第4条の2第1項の規定による協力を求めることができます。

(宿泊契約締結の拒否)

第5条

当ホテルは、次に掲げる場合において、宿泊契約の締結に応じないことがあります。ただし、本項は、当ホテルが旅館業法第5条に掲げる場合以外の場合に宿泊を拒むことがあることを意味するものではありません。

- 宿泊の申し込みが、この約款によらないとき。
- 満室により客室の余裕がないとき。
- 宿泊しようとする者が、宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき。
- 宿泊しようとする者が、次の①から③に該当すると認められるとき。
 - 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条第2号に規定する暴力団（以下「暴力団」という。）、同法第2条第6号に規定する暴力団員（以下「暴力団員」という。）、暴力団準構成員又は暴力団関係者その他の反社会的勢力
 - 暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき
 - 法人でその役員のうちに暴力団員に該当する者があるもの
- 宿泊しようとする者が、他の宿泊客に著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき。
- 宿泊しようとする者が、旅館業法第4条の2第1項第2号に規定する特定感染症の患者等（以下「特定感染症の患者等」という。）であるとき。

- (7) 宿泊に関し暴力的要求行為が行われ、又は合理的な範囲を超える負担を求められたとき(宿泊しようとする者が障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律(平成25年法律第65号。以下「障害者差別解消法」という。)第7条第2項又は第8条第2項の規定による社会的障壁の除去を求める場合は除く。)
- (8) 宿泊しようとする者が、当ホテルに対し、その実施に伴う負担が過重であって他の宿泊者に対する宿泊に関するサービスの提供を著しく阻害するおそれのある要求として旅館業法施行規則第5条の6で定めるものを繰り返したとき。
- (9) 天災、施設の故障、その他やむを得ない事由により宿泊させることができないとき。
- (10) 宿泊しようとする者が偽名で宿泊しようとしたとき。
- (11) 那覇市旅館業法施行条例第4条の規定する場合に該当するとき。
 - ① 泥酔し、又は言動が著しく異常で、他の宿泊者に迷惑を及ぼすおそれがあると認められるとき。
 - ② 著しく不潔な身体又は服装をしているため、他の宿泊者に迷惑を及ぼすおそれがあると認められるとき。

(宿泊契約締結の拒否の説明)

第5条の2

宿泊しようとする者は、当ホテルに対し、当ホテルが前条に基づいて宿泊契約の締結に応じない場合、その理由の説明を求めることができます。

(宿泊客の契約解除権)

第6条

- 1. 宿泊客は、当ホテルに申し出て、宿泊契約を解除することができます。
- 2. 当ホテルは、宿泊客がその責めに帰すべき事由により宿泊契約の全部又は一部を解除した場合(第3条第2項の規定により当ホテルが申込金の支払期日を指定してその支払いを求めた場合であって、その支払いより前に宿泊客が宿泊契約を解除したときを除きます。)は、別表第2に掲げるところにより、違約金を申し受けます。ただし、当ホテルが第4条第1項の特約に応じた場合にあっては、その特約に応じるに当たって、宿泊客が宿泊契約を解除したときの違約金支払義務について、当ホテルが宿泊客に告知したときに限ります。
- 3. 当ホテルは、宿泊客が連絡をしないで宿泊日当日の午後9時(あらかじめ到着予定時刻が明示されている場合は、その時刻を2時間経過した時刻)になっても到着しないときは、その宿泊契約は宿泊客により解除されたものとみなし処理することがあります。

(当ホテルの契約解除権)

第7条

- 1. 当ホテルは、次に掲げる場合においては、宿泊契約を解除することがあります。ただし、本項は、当ホテルが旅館業法第5条に掲げる場合以外の場合に宿泊を拒むことがあることを意味するものではありません。
 - (1) 宿泊客が宿泊に関し、法令の規定、公の秩序若しくは善良の風俗に反する行為をするおそれがあると認められるとき、又は同行為をしたと認められるとき。
 - (2) 宿泊客が次の①から③に該当すると認められるとき。
 - ① 暴力団、暴力団員、暴力団準構成員又は暴力団関係者その他の反社会的勢力
 - ② 暴力団又は暴力団員が事業活動を支配する法人その他の団体であるとき
 - ③ 法人でその役員のうちに暴力団員に該当する者があるもの
 - (3) 宿泊客が他の宿泊客に著しい迷惑を及ぼす言動をしたとき。
 - (4) 宿泊客が特定感染症の患者等であるとき。
 - (5) 宿泊に関し暴力的要求行為が行われ、又は合理的な範囲を超える負担を求められたとき(宿泊客が障害者差別解消法第7条第2項又は第8条第2項に規定による社会的障壁の除去を求める場合は除く。)
 - (6) 宿泊客が、当ホテルに対し、その実施に伴う負担が過重であって他の宿泊者に対する宿泊に関するサービスの提供を著しく阻害するおそれのある要求として旅館業法施行規則第5条の6で定めるものを繰り返したとき。
 - (7) 天災等不可抗力に起因する事由により宿泊させることができないとき。
 - (8) 宿泊しようとする者が偽名で宿泊しようとしたとき。
 - (9) 那覇市旅館業法施行条例第4条の規定する場合に該当するとき。
 - ① 泥酔し、又は言動が著しく異常で、他の宿泊者に迷惑を及ぼすおそれがあると認められるとき。
 - ② 著しく不潔な身体又は服装をしているため、他の宿泊者に迷惑を及ぼすおそれがあると認められるとき。
 - (10) 寝室での寝たばこ、消防用設備等に対するいたずら、その他当ホテルが定める利用規則の禁止事項(火災予防上必要なものに限る。)に従わないとき。
- 2. 当ホテルが前項の規定に基づいて宿泊契約を解除したときは、宿泊客がまだ提供を受けていない宿泊サービス等の料金はいただきません。

(宿泊契約解除の説明)

第7条の2

宿泊客は、当ホテルに対し、当ホテルが前条に基づいて宿泊契約を解除した場合、その理由の説明を求めることができます。

（宿泊の登録）

第8条

1. 宿泊客は、宿泊日当日、当ホテルのフロントにおいて、次の事項を登録していただきます。
 - (1) 宿泊客の氏名、住所及び連絡先
 - (2) 日本国内に住所を有しない外国人にあつては、国籍及び旅券番号
 - (3) その他当ホテルが必要と認める事項
2. 宿泊客が第12条の料金の支払いを、旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等通貨に代わり得る方法により行おうとするときは、あらかじめ、前項の登録時にそれらを呈示していただきます。

（客室の使用時間）

第9条

1. 宿泊客が当ホテルの客室を使用できる時間は、午後3時から翌朝11時までとします。ただし、連続して宿泊する場合においては、到着日及び出発日を除き、終日使用することができます。
2. 当ホテルは、前項の規定にかかわらず、同項に定める時間外の客室の使用に応じることがあります。この場合には次に掲げる追加料金を申し受けます。
 - (1) 規定より1時間 … 3,000円
 - (2) 規定より2時間 … 5,000円
 - (3) 規定より3時間 … 7,000円
 - (4) 規定より4時間 … 9,000円
 - (5) 規定より4時間以上 … 該当日の1泊宿泊料金

（利用規則の遵守）

第10条

宿泊客は、当ホテル内においては、当ホテルが定めてホテル内に掲示した利用規則に従っていただきます。

（営業時間）

第11条

1. 当ホテルの主な施設等の営業時間は次のとおりとし、その他の施設等の詳しい営業時間は備付けパンフレット、各所の掲示、客室内のサービスディレクトリー等で御案内いたします。
フロントサービス：24時間
2. 前項の時間は、必要やむを得ない場合には臨時に変更することがあります。その場合には、適当な方法をもってお知らせします。

（料金の支払い）

第12条

1. 宿泊客が支払うべき宿泊料金等の内訳は、別表第1に掲げるところによります。
2. 前項の宿泊料金等の支払いは、通貨又は当ホテルが認めた旅行小切手、宿泊券、クレジットカード等これに代わり得る方法により、宿泊客の出発の際又は当ホテルが請求した時、フロントにおいて行っていただきます。
3. 当ホテルが宿泊客に客室を提供し、使用が可能になったのち、宿泊客が任意に宿泊しなかった場合においても、宿泊料金は申し受けます。

（当ホテルの責任）

第13条

1. 当ホテルは、宿泊契約及びこれに関連する契約の履行に当たり、又はそれらの不履行により宿泊客に損害を与えたときは、その損害を賠償します。ただし、それが当ホテルの責めに帰すべき事由によるものでないときは、この限りではありません。
2. 当ホテルは、万一の火災等に対処するため、旅館賠償責任保険に加入しております。

（契約した客室の提供ができないときの取扱い）

第14条

1. 当ホテルは、宿泊客に契約した客室を提供できないときは、宿泊客の了解を得て、できる限り同一の条件による他の宿泊施設をあっ旋するものとします。
2. 当ホテルは、前項の規定にかかわらず他の宿泊施設のあっ旋ができないときは、違約金相当額の補償料を宿泊客に支払い、その補償料は損害賠償額に充当します。ただし、客室が提供できないことについて、当ホテルの責めに帰すべき事由がないときは、補償料を支払いません。

（寄託物等の取扱い）

第15条

1. 宿泊客がフロントにお預けになった物品又は現金並びに貴重品について、滅失、毀損等の損害が生じたときは、それが、不可抗力である場合を除き、当ホテルは、その損害を賠償します。ただし、現金及び貴重品については、当ホテルがその種類及び価額の明告を求めた場合であつて、宿泊客がそれを行わなかったときは、当ホテルは5万円を限度としてその損害を賠償します。

2. 宿泊客が、当ホテル内にお持込みになった物品又は現金並びに貴重品であってフロントにお預けにならなかったものについて、当ホテルの故意又は過失により滅失、毀損等の損害が生じたときは、当ホテルは、その損害を賠償します。ただし、宿泊客からあらかじめ種類及び価額の明告のなかったものについては、当ホテルに故意又は重大な過失がある場合を除き、5万円を限度として当ホテルはその損害を賠償します。

（宿泊客の手荷物又は携帯品の保管）

第16条

1. 宿泊客の手荷物が、宿泊に先立って当ホテルに到着した場合は、その到着前に当ホテルが了解したときに限って責任をもって保管し、宿泊客がフロントにおいてチェックインする際お渡しします。
2. 宿泊客がチェックアウトしたのち、宿泊客の手荷物又は携帯品が当ホテルに置き忘れられていた場合において、当ホテルは、当該所有者からのご連絡をお待ちし、ご連絡がないときは遺失物法に基づき処理いたします。ただし、貴重品については、発見日を含め7日間保管し、その後最寄りの警察署に届けます。
3. 前2項の場合における宿泊客の手荷物又は携帯品の保管についての当ホテルの責任は、第1項の場合にあつては前条第1項の規定に、前項の場合にあつては同条第2項の規定に準じるものとします。

（駐車場の責任）

第17条

宿泊客が当ホテルの駐車場をご利用になる場合、車両のキーの寄託の如何にかかわらず、当ホテルは場所をお貸しするものであって、車両の管理責任まで負うものではありません。ただし、駐車場の管理に当たり、当ホテルの故意又は過失によって損害を与えたときは、その賠償の責めに任じます。

（宿泊客の責任）

第18条

宿泊客の故意又は過失により当ホテルが損害を被ったときは、当該宿泊客は当ホテルに対し、その損害を賠償していただきます。

（支配する言語）

第19条

この約款は日本語と英語で作成されていますが、日本語と英文の間に不一致又は相違があるときは、すべて日本語によるものとします。

（裁判管轄及び準拠法）

第20条

この約款による宿泊契約及びこれに関連する契約に関して生じる一切の紛争については、専ら当ホテルの所在地を管轄する日本の裁判所において、日本の法令に従い解決されるものとします。

別表1 宿泊料金等の内訳(第2条第1項および第12条第1項関係)

宿泊客が 支払うべき総額	内 訳	
	宿泊料金	(1) 宿泊料(室料) (2) サービス料 ((1) × 規定の料率)
	追加料金	(3) 飲食料または追加飲食(朝食含む) およびその他の利用料金の合計 (4) サービス料 ((3) × 規定の料率)
	税 金	(イ) 消費税 (ロ) 入湯税

(注) 宿泊料はシーズンおよび需要変動に応じた料金となります。

表2 違約金(第6条第2項関係)

予約申し込み室数		取消の通知を受けた日							
		不 泊	当 日	前 日	7日前	14日前	30日前	60日前	90日前
一部取消	10室まで	100%	80%	20%	10%		—	—	—
	11室以上	100%	80%	30%	20%	10%	—	—	—
全面取消	10室まで	100%	80%	50%	20%	10%	—	—	—
	11室以上	100%	100%	80%	70%	50%	30%	20%	10%

(注)

1. %は契約宿泊料金に対する違約金の比率です。
2. 契約日数が短縮した場合はその日数にかかわらず1 日分(初日)の違約金を収受します。
3. 当ホテルが定めた特定日については別途違約金が発生する場合がございます。

利用規則 ロワジールホテル&スパタワー那覇

すべてのお客様に安全かつ快適にご利用いただくため、宿泊約款第10条に基づき以下のとおり利用規則を定めております。ご滞在中は本規則をお守りくださいますようお願い申し上げます。

本規則をお守りいただけない場合は宿泊約款第7条第1項により宿泊契約ならびにこれに関連する契約をすべて解除させていただきます。

また今後の当ホテル施設ご利用をお断り申し上げるとともに、当ホテルが被ったすべての損害をご負担いただきますのであらかじめご了承ください。

■客室・館内施設ご利用について

- (1) 避難経路図は客室入口ドアの裏側に掲示しております。ご到着後に必ず最寄りの非常口と非難経路をご確認ください。非常用懐中電灯は客室テーブル内側に備え付けております。
- (2) 当ホテルの客室ドアは自動施錠になっております。お部屋からお出掛けの際は客室のカードキーを必ずお持ちになり施錠をご確認ください。
- (3) ご在室中・ご就寝の際には必ず内鍵とドアガードをお掛けください。とくに就寝の際と台風接近時は窓・バルコニーの確実な施錠もご確認ください。部外者の入室をお断りになる場合は「Do not Disturb（起こさないでください）」の表示をお願いいたします。ただしこの場合は客室清掃も行われませんのでご了承ください（衛生管理上3日に1度ゴミ回収のみ行わせていただきます）。
- (4) ドアがノックされた場合はドアガードを掛けたままドアを開けるか、ドアスコープにてご確認ください。また不審者の来訪に際しては不用意にドアを開けず、すぐにフロントまでご連絡ください。
- (5) 館内外の諸設備、備品の汚損、破損、紛失、持ち帰りについては実費を申し受けます。
- (6) 未成年者だけのご宿泊は書面による保護者の許可がない限りお断りいたします。
- (7) ホテル内のレストラン・バー等をご署名によってご利用になる場合はカードキーまたは宿泊カードなど部屋番号がわかるものをご提示ください。
- (8) カードキーはチェックアウト時に全員分をご返却ください。紛失、汚損、破損、持ち帰りは1枚あたり2,000円（消費税別）の実費を申し受けます。
- (9) ホテル付帯施設を利用の際、スタッフは必要に応じてお名前、お部屋番号（連絡先）をお伺いいたします。

■お支払い等について

- (1) ご到着時にお預かり金またはクレジットカードのプリントを申し受けます。
- (2) ご予定のご宿泊日数を延長される場合はそれまでの宿泊代金のお支払いをお願いしております。
- (3) お会計はご出発の際にフロントにてお願いいたします。なお、ご滞在中であってもお会計をお願いする場合がございますのでその都度お支払いをお願いいたします。
- (4) 旅行者用小切手（トラベラーズ・チェック）および小切手でのお支払いはできません。
- (5) クレジットカードや旅行用クーポン、各種優待券等の換金できません。
- (6) お客様ご自身が支払うべき料金の立替はお断りさせていただいております。
- (7) 着払い・代金引換での荷物受け取りはお受けできません。
- (8) 客室内の電話をご利用の際は施設利用料が加算されます。
- (9) 規定のサービス料を加算させていただいておりますので、お心付け等のご辞退申し上げます。

■貴重品の管理・お預かり品について

- (1) ご滞在中の現金その他貴重品の保管については、客室に備え付けのセーフティーボックス（無料）をご利用ください。万が一紛失、盗難等が発生した場合当ホテルではその責任を負いかねますのでご了承ください。美術品、骨董品等はお預かりいたしかねますのであらかじめご了承ください。
- (2) ロビー、客室廊下、レストランなどのパブリックスペースでは短時間であっても所持品を放置しないようご注意ください。
- (3) ホテル内での遺失物の処理は宿泊約款第16条に基づき一定期間ホテルが保管し、その後は遺失物法に基づいて処理させていただきます。

- (4) フロント、クロークでの物品お預かりは7日間までとさせていただきます。7日間が経過しても連絡がない場合、お引き取りの意思がないものとして処理させていただきます。ただし生鮮食品、飲食物についてはご出発後 3 日間を保管期限とさせていただきます。

■暴力団及び暴力団員ならびに公共の秩序をみだすおそれのある方に関して

- (1) 「暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律」(平成4 年3 月1 日施行)による指定暴力団及び指定暴力団員等の当ホテル利用はご遠慮いただきます。ご予約後またはご利用中にその事実が判明した場合は、その時点でご利用をお断りいたします。
- (2) 反社会的団体及び反社会的団員(暴力団及び過激行動団体など並びにその構成員)の当ホテル利用はご遠慮いただきます。ご予約後またはご利用中にその事実が判明した場合は、その時点でご利用をお断りいたします。
- (3) 暴力、脅迫、恐喝、威圧的な不当要求及びこれに類する行為が認められる場合、ただちに当ホテルのご利用をお断りいたします。また、過去に同様の行為をされた方についても当ホテルのご利用をお断りいたします。
- (4) 当ホテルを利用する方が心身耗弱、薬品等による自己喪失などご自身の安全確保が困難で他のお客様およびホテル従業員に危険や恐怖感、不安感を及ぼす恐れがあると認められる場合はただちにご利用をお断りいたします。
- (5) その他、上記各事項に類する行為の認められた場合はご利用をお断りいたします。

■禁止事項

当ホテルでは以下の事項を禁止しております。ご利用に際し特にご留意されますようお願い申し上げます。

- ・火災の原因となる行為
特にベッドでの喫煙、客室内における暖房用、炊事用など火気の利用は厳禁です。
- ・非常階段など従業員専用の施設に立ち入ること
緊急事態あるいはやむを得ない場合を除きます。その際はホテルスタッフの誘導に従ってください。
- ・禁煙室における喫煙
バルコニー部分も含めて禁煙となっております。万が一喫煙が発覚した場合は客室の原状回復費用として¥20,000(消費税別)を申し受けます。
- ・部屋着・サンダル着用での温泉以外施設のご利用
ロビー、宴会場、朝食会場を含むレストラン、ショッピングエリア、コンビニエンスストアは部屋着・サンダル着用ではご利用いただけませんのでご注意ください。
- ・客室内用スリッパでの外出
スリッパは客室内のみでご利用ください。
- ・過度に肌を露出した服装での外出
プール利用時の館内移動も上着着用にてお願いいたします。
- ・宿泊登録者以外の客室エリア立ち入り
ご訪問客との面会はロビーまたはレストランをご利用ください。
- ・お客様自身で原状回復することができない備品の移動
- ・ホテルの安全や外観を損なうおそれのある物品を窓際やバルコニーへ陳列すること
洗濯された衣類・水着などをバルコニーの手すりに干すこともご遠慮ください。
- ・身体障害者補助犬法第2 条に基づく盲導犬、介助犬及び聴導犬を除く動物のホテル敷地内への持ち込み
- ・火薬、揮発油などの発火物、引火性物質、悪臭及び強い臭いを発する物質のホテル敷地内への持ち込み
- ・法律により所持を禁じられている物品(鉄砲、刀剣、麻薬等)のホテル敷地内への持ち込み
- ・常識を超える量の物品のホテル敷地内への持ち込み
- ・ホテル外からの飲食物持ち込み、外部への発注行為
- ・事前の許可なく客室で営業行為または集会行為を行うこと
- ・事前の許可なく客室内へ造作物を設置または改造すること
- ・事前の許可なく広告宣伝物配布、物品販売、勧誘等を行うこと
- ・事前の許可なく館内で営業目的の撮影を行うこと
- ・賭博や風紀を乱すような行為、または他のお客様ならびにホテル従業員の迷惑になるような言動

Terms and Conditions for Accommodation

LOISIR HOTEL NAHA



(Scope of Application)

Article 1.

1. Contracts for accommodation and related agreements to be entered into between this Hotel and the Guest to be accommodated shall be subject to these Terms and Conditions. Any particulars not provided herein shall be governed by laws and regulations ("laws and regulations," or those based on laws and regulations. The same shall apply hereinafter) and/or generally accepted practices.
2. In the case when the Hotel has entered into a special contract with the Guest insofar as such special contract does not violate laws and regulations and generally accepted practices the special contract shall take precedence over the provisions of these Terms and Conditions, notwithstanding the preceding Paragraph.

(Application for Accommodation Contract)

Article 2.

1. A Guest who intends to make an application for an Accommodation Contract with the Hotel shall notify the Hotel of the following particulars:
 - (1) Name of the Guest(s).
 - (2) Date of accommodation and estimated time of arrival.
 - (3) Accommodation charges (based in principle on the Basic Accommodation Charges listed in the Attached Table No. 1).
 - (4) Other particulars deemed necessary by the Hotel.
2. If Guests request to extend their stay, during their stay, beyond the date in subparagraph (2) of the preceding Paragraph, it shall be regarded as an application for a new Accommodation Contract at the time such request is made.

(Conclusion of Accommodation Contracts, etc.)

Article 3.

1. A Contract for Accommodation shall be deemed to have been concluded when the Hotel has duly accepted the application as stipulated in the preceding Article. However, the same shall not apply where it has been proved that the Hotel has not accepted the application.
2. When a Contract for Accommodation has been concluded in accordance with the provisions of the preceding Paragraph, the Guest is requested to pay an accommodation deposit set by the Hotel within the limits of Basic Accommodation Charges covering the Guest's entire period of stay by the date specified by the Hotel.
3. The deposit shall be first used for the Total Accommodation Charge to be paid by the Guest, secondly for cancellation charges under Article 6 and thirdly for reparations under Article 18 as applicable. The remainder, if any, shall be refunded at the time of payment for accommodation as stated in Article 12.
4. If the Guest fails to pay the deposit by the date as stipulated in Paragraph 2, the Hotel shall treat the Accommodation Contract as invalid. However, the same shall apply only in the case where the Guest is thus informed by the Hotel when the period of Payment of the deposit is specified.

(Special Contracts Requiring No Accommodation Deposit)

Article 4.

1. Notwithstanding the provisions of Paragraph 2 of the preceding Article, the Hotel may enter into a special contract requiring no accommodation deposit after the Contract has been concluded as stipulated in the same Paragraph.
2. In the case when the Hotel has not requested payment of the deposit as stipulated in Paragraph 2 of the preceding Article and/or has not specified the date of payment of the deposit at the time the application for an Accommodation Contract has been accepted, it shall be treated as though the Hotel has accepted a special contract prescribed in the preceding Paragraph.

(Request for cooperation in infection control measures at facilities)

Article 4-2.

The Hotel may request cooperation from the person who intends to stay at the hotel in accordance with the provisions of Article 4-2, Paragraph 1 of the Hotel Business Act (Act No. 138 of 1948).

(Refusal of Accommodation Contracts)

Article 5.

The Hotel may not accept the conclusion of an Accommodation Contract under any of the following circumstances. However, this paragraph does not mean that the Hotel may refuse accommodation in cases other than those listed in Article 5 of the Hotel Business Act.

- (1) When the application for accommodation does not conform with the provisions of these Terms and Conditions.
- (2) When the Hotel is fully booked and there is no vacancy.
- (3) When the Guest seeking accommodation is deemed liable to conduct himself/herself in a manner that will violate laws or act against the public order or good morals in regard to his/her accommodation.
- (4) When the person who intends to stay at this hotel is deemed to fall under any of the following items ① through ③.
 - ① Organized Crime Groups as defined in Article 2, Item 2 of the Act on Prevention of Unjust Acts by Organized Crime Groups (Act No. 77 of 1991) (hereinafter referred to as "Organized Crime Groups"), members of organized crime groups as defined in Article 2, Item 6 of the same article (hereinafter referred to as "Members of Organized Crime Groups"), associate members of organized crime groups or persons related to organized crime groups, or other antisocial groups.
 - ② When the person is a organized crime group or a corporation or other organization whose business activities are controlled by a organized crime group or a member of an organized crime group.
 - ③ A person who is a juridical person and one of its officers falls under the category of an organized crime group member.
- (5) When the person is behaving in such a manner as to be an annoyance to other guests.

- (6) When a person who intends to stay at this hotel is a patient, etc. of a specified infectious disease as defined in Article 4-2, paragraph 1, item 2 of the Hotel Business Act (hereinafter referred to as "patient, etc. of specified infectious disease").
- (7) When a violent act of demand is committed or a burden exceeding a reasonable range is demanded with regard to accommodation (Excluding cases where the person seeking accommodation requests the removal of social barriers pursuant to the provisions of Article 7, Paragraph 2 or Article 8, Paragraph 2 of the Act (Act No. 65 of 2013. Hereinafter referred to as the "Act on Elimination of Discrimination against Persons with Disabilities") on Promotion of Elimination of Discrimination on the Basis of Disability.).
- (8) When the person who intends to stay in the Hotel has repeatedly made a request to the Hotel as specified in Article 5-6 of the Enforcement Regulations of the Hotel Business Act as a request whose burden is excessive in its implementation and which may seriously impede the provision of accommodation-related services to other guests.
- (9) When the Hotel is unable to provide accommodation due to natural calamities, malfunction of facilities and/or other unavoidable causes.
- (10) When the Guest seeking accommodation is doing so under a false name.
- (11) When the provisions of Article 4 of Naha City Ordinance are applicable.
 - ① When the Guest seeking accommodation, owing to heavy Intoxication or other rude manners, is deemed liable to cause annoyance to other guest(s).
 - ② When the Guest seeking accommodation, is markedly dirty or badly dressed, such that it could be deemed liable to cause disturbance to other guest(s).

(Explanation of refusal to conclude a contract of accommodation)

Article 5-2.

The person who intends to stay may request the Hotel to explain the reasons for its refusal to enter into a contract of accommodation in accordance with the preceding article.

(Right to Cancel Accommodation Contracts by the Guest)

Article 6.

1. The Guest is entitled to cancel the Accommodation Contract by notifying the Hotel.
2. If the Guest has cancelled the Accommodation Contract in whole or in part due to causes for which the Guest is liable (except in the case when the Hotel has requested payment of the deposit during the specified period as prescribed in Paragraph 2 of Article 3 and the Guest has cancelled before payment), the Guest shall pay cancellation charges as listed in the Attached Table No. 2. However, in the case when a special contract as prescribed in Paragraph 1 of Article 4 has been concluded, the same shall apply only when the Guest is informed of the obligation of payment of cancellation charges in case of cancellation by the Guest.
3. If the Guest does not appear by 9 pm. of the accommodation date (without advance notice 2 hours after the expected time of arrival if the Hotel is notified), the Hotel may regard the Accommodation Contract as being cancelled by the Guest.

(Right to Cancel Accommodation Contract by the Hotel)

Article 7.

1. The Hotel may cancel the Accommodation Contract under any of the following circumstances. However, this paragraph does not mean that this hotel may refuse accommodation in cases other than those listed in Article 5 of the Hotel Business Act.
 - (1) When the Guest is deemed liable for conduct and/or has conducted himself/herself in a manner that will violate laws or act against the public order and good morals in regard to his/her accommodation.
 - (2) When it is recognized that the Guest falls under any of the following items ① through ③.
 - ① When the Guest is a crime group, a member of a crime group, a quasi-constituent of a crime group, or a person related to a crime group, or any other antisocial group.
 - ② When the Guest is a juridical person or other organization whose business activities are controlled by a crime group or a member of a crime group.
 - ③ when the Guest seeking accommodation is a corporation which any of directors are proven to be a member of an organized crime group.
 - (3) When the Guest is behaving in such a manner as to be an annoyance to other guests.
 - (4) When the Guest is a patient, etc. of specified infectious disease.
 - (5) When the Guest who intends to stay at the accommodation commits a violent demand act or asks for a burden exceeding a reasonable range with regard to the accommodation (except when the guest requests the removal of social barriers as provided in Article 7, paragraph 2 or Article 8, paragraph 2 of the Act on Elimination of Discrimination against Persons with Disabilities).
 - (6) When the Guest repeatedly makes a request to this hotel that is so burdensome in its implementation that it may seriously impede the provision of accommodation-related services to other guests, as specified in the Article 5-6 of the Enforcement Regulations of the Hotel Business Act.
 - (7) When the Hotel is unable to provide accommodation due to natural calamities and/or other causes of force majeure.
 - (8) When the Guest seeking accommodation is doing so under a false name.
 - (9) When the provisions of Article 4 of Naha City Ordinance are applicable.
 - ① When the Guest seeking accommodation, owing to heavy Intoxication or other rude manners, is deemed liable to cause annoyance to other guest(s).
 - ② When the Guest seeking accommodation, is markedly dirty or badly dressed, such that it could be deemed liable to cause disturbance to other guest(s).
 - (10) When the Guest does not observe prohibited actions such as smoking in bed, tampers with fire-fighting facilities and otherwise breaches Hotel Regulations stipulated by the Hotel (restricted to particulars deemed necessary in order to avoid causing fires).
2. If the Hotel has canceled the Accommodation Contract in accordance with the preceding Paragraph, the Hotel shall not charge the Guest for any of the services during the contractual period he/she has not received.

(Explanation of Cancellation of Accommodation Contract)

Article 7-2.

In the event that the Hotel cancels the accommodation contract in accordance with the preceding article, the Guest may request an explanation of the reasons for such cancellation.

(Registration)**Article 8.**

1. The Guest shall register the following particulars the Front Desk of the Hotel on the day of accommodation:
 - (1) Name, address, and contact information of the Guest(s).
 - (2) Nationality and passport number for foreigners, who do not have a domicile in Japan.
 - (3) Other particulars deemed necessary by the Hotel.
2. In the case when the Guest intends to make payment of the charges in accordance with Article 12 by any means other than Japanese currency, such as traveler's checks, coupons, credit cards, etc., these credentials shall be shown in advance at the time of registration in accordance with the preceding paragraph.

(Occupancy Hours of Guest Rooms)**Article 9.**

1. The Guest is entitled to occupy the contracted guest room of the Hotel from 3 pm. on the day of arrival to 11 am on the day of departure. However, in the case when the Guest is accommodated continuously, the Guest may occupy the guest room all day, except for the days of arrival and departure.
2. The Hotel may, notwithstanding the provisions prescribed in the preceding Paragraph, permit the Guest to occupy the guest room beyond the time prescribed in the same Paragraph, in this case, extra charges shall apply as follows.
 - (1) Up to 1 hour : 3,000 yen
 - (2) Up to 2 hours : 5,000 yen
 - (3) Up to 3 hours : 7,000 yen
 - (4) Up to 4 hours : 9,000 yen
 - (5) More than 4 hours : room charge in full

(Observance of Hotel Regulations)**Article 10.**

The Guest shall observe the Hotel Regulations established by the Hotel. Hotel Regulations are posted within the premises of the Hotel.

(Business Hours)**Article 11.**

1. The business hours of the Hotel main facilities are as follows, and those of other facilities, etc. shall be notified in detail by brochures as provided, notices displayed in various places, the Service Directory in guest rooms and other means.
Front service : 24 hours
2. The business hours specified in the preceding Paragraph are subject to temporary changes due to unavoidable circumstances of the Hotel. In such cases, the Guest shall be informed by appropriate means.

(Payment of Accommodation Charges)**Article 12.**

1. The explanation of accommodation charges, etc. that the Guest shall pay is as listed in the attached Table No. 1.
2. Accommodation charges, etc. as stated in the preceding Paragraph shall be paid at Front Desk at the time of the Guest's departure or upon request by the Hotel in Japanese currency. Other means acceptable to the Hotel are traveler's cheques, coupons and credit cards.
3. Accommodation charges shall be paid even if the Guest voluntarily does not utilize the accommodation facilities provided for him/her by the Hotel.

(Liabilities of the Hotel)**Article 13.**

1. The Hotel shall compensate the Guest for damage if the Hotel has caused such damage to the Guest in the fulfillment or the nonfulfillment of the Accommodation Contract and/or related agreements. However, the same shall not apply in cases where such damage has been caused due to reasons for which the Hotel is not liable.
2. The Hotel is covered by Hotel Liability Insurance to deal with unexpected fire and/or other disasters.

(Handling when Unable to Provide Contracted Rooms)**Article 14.**

1. The Hotel shall, when unable to provide contracted rooms, arrange accommodation of the same standard elsewhere for the Guest insofar as practicable with the consent of the Guest.
2. When arrangement of other accommodation cannot be made, notwithstanding the provisions of the preceding Paragraph, the Hotel shall pay the Guest a compensation fee equivalent to the cancellation charges and the compensation fee shall be applied to reparations. However, when the Hotel cannot provide accommodation due to causes for which the Hotel is not liable, the Hotel will not compensate the Guest.

(Handling of Deposited Articles)**Article 15.**

1. The Hotel shall compensate for the Guest for damages when loss, breakage, or other damage occurs to goods, cash, or valuables deposited at the front desk by the Guest, except in the case when such damage is caused by force majeure. However, for cash and valuables, when the Hotel has requested the Guest for an appraisal of the value and the Guest has failed to do so, the Hotel shall compensate the Guest up to a maximum of 50,000 yen.
2. The Hotel shall compensate the Guest for damages when loss, breakage or other damage is caused, through intent or negligence on the part of the Hotel, to the goods, cash or valuables brought onto the premises of the Hotel by the Guest but are not deposited at the Front Desk. However, in the event that the type and value of the guest's property or cash and valuables have not been disclosed in advance, this hotel shall compensate for damages up to 50,000 yen, except in the case of intent or gross negligence on the part of the hotel.

(Custody of Baggage and/or Belongings of Guest)**Article 16.**

1. When the baggage of the Guest is brought into the Hotel before his/her arrival, the Hotel shall be liable to store it only in the case when such a request has been accepted from the Hotel. The baggage shall be handed over to the Guest at the Front Desk at the time of his/her check-in.
2. When the baggage or belongings of the Guest are found after check-out and ownership of the article is confirmed, the Hotel shall inform the owner of the article left and ask for further instructions. When no such instructions are given to the Hotel by the owner or when ownership is not confirmed, the hotel will keep the property for 7 days, including the day of discovery, after which it will be reported to the nearest police station.
3. The Hotel's liability in regards to the custody of the Guest's baggage and belongings in the case of the preceding two paragraphs shall be in accordance with the provisions of Paragraph 1 of the Preceding Article in the case of Paragraph 1, and with the provisions of Paragraph 2 of the same Article in the case of Paragraph 2.

(Liability in Regard to Parking)**Article 17.**

The Hotel shall not be liable for the custody of the vehicle of the Guest when the Guest utilizes the parking lot within the premises of the Hotel, as it shall be regarded that the Hotel simply offers the space for parking, whether the key of the vehicle has been deposited to the Hotel or not. However, the Hotel shall compensate the Guest for damage caused through intent or negligence on the part of the Hotel in regards to the management of the parking lot.

(Liability of the Guest)**Article 18.**

The Guest shall compensate the Hotel for damage caused through intent or negligence on part of the Guest.

(Governing Language)**Article 19.**

These terms herein are provided in both Japanese and English. In the event of a variation or discrepancy between the Japanese and the English version, the Japanese version shall take precedence.

(Jurisdiction and Applicable Laws)**Article 20.**

All litigation arising from the Terms & Conditions for Accommodation Contracts and related agreements will be resolved in the courts of the jurisdiction of the Hotel in accordance with Japanese Law.

Attached Table No.1
Breakdown of Accommodation Charges, for Hotel.
(Refer to Paragraph 1 of Article 2 and Paragraph 1 of Article 12)

Total Amount to be Paid by the Guest	Contents	
	Accommodation Charges	(1) Accommodation Charge (Room charge) (2) Service charge ((1) ×10%)
	Extra Charges	(3) Meals & Drinks or Extra Meals & Drinks (including Breakfast) and all Other Expenses (4) Service charge ((3) ×10%)
	Taxes	a. Consumption tax b. Bathing tax

Remarks: Accommodation Fees subject to seasonal and demand fluctuations.

Attached Table No.2
Cancellation Charge for Hotel (Ref. Paragraph 2 of Article 6)

Contracted Number of Guests		Date when Cancellation of Contract is Notified							
		No Show	Accommo- dation Day	1 Day Prior to Accommo- dation Day	7 Days Prior to Accommo- dation Day	14 Days Prior to Accommo- dation Day	30 Days Prior to Accommo- dation Day	60 Days Prior to Accommo- dation Day	90 Days Prior to Accommo- dation Day
Partial cancellation	1 to 10	100%	80%	20%	10%		—	—	—
	11 and more	100%	80%	30%	20%	10%	—	—	—
Cancel all	1 to 10	100%	80%	50%	20%	10%	—	—	—
	11 and more	100%	100%	80%	70%	50%	30%	20%	10%

- Remarks:
1. % signifies the cancellation charge to the Basic Accommodation Charges.
 2. When the number of days contracted is shortened, the cancellation charge for the first day of the cancelled period shall be paid by Guest regardless of the number of days shortened.
 3. Separate penalty may be charged for certain days specified by the Hotel.

For all Guests to use the Hotel safely and comfortably, these Rules of Use have been established in accordance with Article 10 of the Accommodation Terms and Conditions. Please observe these Rules during your stay. If these Rules are not observed by a Guest, then in accordance with Item.

1 of Article 7 of the Accommodation Terms and Conditions, the Accommodation Agreement and any other related agreements shall be canceled. In addition, we shall refuse the Guest use of the Hotel in the future, and shall hold the Guest responsible for all damages suffered by the Hotel.

■ Use of Rooms and On-Site Facilities

- (1) An emergency evacuation map has been posted inside the entry door to the guest rooms. After arrival, make certain that you confirm the location of the closest emergency exit and the evacuation route. There is an emergency flashlight attached to the inside of the desk in the guest rooms.
- (2) The guest room doors in the Hotel are auto-locking. Please remember to take your card key with you when you leave your room, and make sure your door is locked.
- (3) When in your room or sleeping make sure that the inside lock and door guard are locked. Especially when going to bed, make sure the window or balcony is locked when a typhoon is nearby. Please hang out the "Do not Disturb" sign when you do not want anyone to enter your room. However, be aware that room cleaning shall not occur in this case. (For sanitation purposes, the trash only must be emptied once every three days.)
- (4) When someone knocks on your door, keep the door guard in place when you open the door, or look through the peephole. If someone suspicious comes to your door, do not open it and contact the Front Desk immediately.
- (5) You shall be charged for any equipment or fixtures inside or outside the building that you deface, damage, lose or take home.
- (6) We do not allow any minors to stay at the Hotel without written consent from a parent or guardian.
- (7) When your signature is required for use in a hotel restaurant or bar, etc., please display your card key or accommodation card or anything that indicates your room number.
- (8) Please return all card keys at the time of your check out. You shall be charged 2,000 yen (tax not included) for each card that is lost, defaced, damaged or taken home.

■ Payment

- (1) Upon arrival we will ask for either a deposit or a credit card number.
- (2) When you extend your stay beyond the days booked, then we shall request that you pay for the nights you have already stayed.
- (3) Please make payment at the Front Desk when you leave. Also, the Hotel may ask you to make payment during your stay, so please pay at that time.
- (4) We do not accept payment by traveler's checks or checks.
- (5) We do not give cash for credit cards, accommodation vouchers or any kind of complimentary tickets.
- (6) We do not accept payment on behalf of the fees that the Guest must pay himself/herself.
- (7) We do not accept luggage as payment or in exchange for fees.
- (8) When the phone in your guest room is used, you will be charged a facility usage fee.
- (9) We charge fixed service fees, so we do not accept tips.

■ Valuables and Deposited Items

- (1) Please use the safe (free) that is in your guest room to store your cash and other valuables during your stay. If they are lost or stolen, this hotel shall not bear any responsibility. We cannot accept works of art or antiques for deposit.
- (2) Please do not leave your possessions in public places, such as the Lobby, guest room hallways or restaurants, even for a short time.
- (3) Lost items that are found in the Hotel shall be handled in accordance with Article 16 of the

Accommodation Terms and Conditions, after which they shall be handled in accordance with the Lost Goods Act.

- (4) We can hold goods on deposit at the Front Desk and Cloakroom for a maximum of seven days. In the event that seven days pass without contact, then they shall be handled as if they are not intended to be collected. However, fresh foods, food and beverages shall only be held for three days after departure.

■ **Criminal Gangs, Gang Members and Individuals Deemed Likely to Violate Public Morals**

- (1) Criminal Gangs and Gang Members as designated by the Act for the Prevention of Wrongful Acts by Members of Organized Crime Groups (Enacted March 1, 1992) may not use the Hotel. If such is discovered to be true about a Guest after booking or during a stay, service shall be denied from that time.
- (2) Antisocial groups and members of antisocial groups (Criminal Gangs, radical groups, etc., as well as them members) may not use the Hotel. If such is discovered to be true about a Guest after booking or during a stay, service shall be denied from that time.
- (3) In the event that it is deemed that a Guest has used violence, threats, extortion, coercive unreasonable demands or other similar actions, the Hotel shall immediately deny him/her service. In addition, anyone who has committed such actions in the past cannot use the Hotel.
- (4) In the event that it is deemed possible that other guests or hotel employees are in danger, threatened or made uneasy by anyone staying at the Hotel because he/she is unable to control himself/herself due to loss of competence attributable to diminished capacity or drugs, the Hotel shall immediately deny them service.
- (5) The Hotel shall deny service for any other reason like those listed in the above paragraphs.

■ **Prohibited Activities**

The following activities are prohibited at the Hotel. Please be careful to keep these in mind while using the Hotel.

- Activities that cause fire

Smoking in bed, or uses of fire such as heating or cooking in guest rooms are strictly prohibited.

- Occupying fire escapes or other areas for use by employees only

Except in the event of an emergency or other unavoidable situation. In such a case, please follow the instructions of the Hotel staff.

- Smoking in non-smoking areas

Balconies are also non-smoking areas. If smoking is discovered, you shall be charged a restoration fee of 20,000 yen (tax not included).

- Wearing dressing gowns or sandals in areas other than the hot springs

Please do not wear dressing gowns or sandals in the Lobby, Banquet Hall, breakfast cafeteria as well as restaurants, the shopping area and convenience store.

- Wearing guest-room slippers outside

Please wear slippers only in the guest rooms

- Wearing excessively revealing clothing outside

When going through the Hotel to use the pool, please wear covering clothing.

- Persons other than those registered at the Hotel entering the guest room area

Please meet visitors in the Lobby or one of the restaurants.

- Moving fixtures that the Guest is unable to restore to their original state

- Displaying any objects from the windows or balconies that might harm the safety or appearance of the Hotel

Please refrain from hanging laundry or bathing suits from balcony handrails.

- Bringing animals onto Hotel premises, except for guide dogs, service dogs or hearing assistance dogs in accordance with Article 2 of the Law Concerning Assistance Dogs for the Disabled

- Bringing gunpowder, volatile oil or other such combustible or inflammable substances, or odious substances or objects that emit a strong odor onto hotel premises.

- Bringing objects that the law prohibits the possession of (gun s, swords, narcotics, etc.) onto Hotel premises

- Bringing a quantity of objects that exceeds what is generally considered acceptable onto Hotel premises
- Bringing in food or beverages from outside the Hotel or ordering food from outside the Hotel
- Conducting business or gatherings within guest rooms without prior consent of the Hotel
- Setting up or altering furnishings within guest rooms without prior consent of the Hotel
- Distributing advertising material, selling products or soliciting without prior consent of the Hotel
- Conducting photography within the Hotel for commercial purposes without prior consent of the Hotel
- Gambling or other activities that corrupt public morals, or words or deeds that disturb other Guests or hotel employees